

日本の気象 ～ “梅雨 (tsuyu)” ～

空调终于夏天临了。从五月中旬到“入梅”称为“初夏”。从江户时代的俳句诗人素堂(sodou)作的俳句“满目嫩绿叶 耳闻山间杜鹃声 品尝初鲚鱼”，树木的绿色变深了，海里随着黑潮游过来的刚上市的鲚鱼，在镰仓以及小田原一带能大量捕获到，从中可知受到江户(译注:现在的东京)的老百姓珍视的情形。据说至今在东京湾还捕获鲚鱼。

从六月中旬到七月中旬，称为“梅雨”，除了北海道和东北的一部分地区之外，日本全国连续雨天。湿度高，闷热，发霉以及腐烂细菌的繁殖旺盛，食物腐烂，也易发生食物中毒。“梅雨天空”不快指数也变高，非常郁闷。

因每天连续下雨，也发生河川涨水以及悬崖塌落等的“自然灾害”。但是，梅雨时期的多雨储存在水库里，连续放晴的盛夏，成为我们的饮用水。另外，也是正值种植水稻的插秧时期，雨水也不可缺少。

日本の気象 ～ 『梅雨 (つゆ)』 ～

いよいよ夏になります。5月中旬から『梅雨入り』までを『初夏』といいます。江戸時代の俳人素堂(そどう)がよんだ俳句「目には青葉 山ほととぎす 初鯉」からは、木々の緑も濃くなり、海では黒潮にのってきた走りの鯉が、鎌倉や小田原あたりで沢山とれ、江戸の庶民に珍重されたようすが伺われます。今でも東京湾で鯉は揚がっているそうです。

6月中旬頃から7月中旬頃にかけては、『梅雨』といって、北海道と東北の一部を除く日本全土において、雨の日が続きます。湿度が高く、蒸し暑く、カビの発生や腐敗菌の繁殖が盛んで食物が腐り、食中毒も発生しやすくなります。『梅雨空』は不快指数も高くなり、うっとうしくてなりません。

毎日続く雨で河川の増水や、がけ崩れなどによる『自然災害』も発生します。しかし、梅雨の時期の多雨はダムに貯められて、日照りの続く盛夏の私たちの飲料水になります。また、稲作の田植え時期にもあたり、欠かせない雨でもあります。